

令和5年度 市政アンケート調査 第2回結果報告(概要版)

1. 市政アンケート調査の概要

- (1) 目的
- ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。
 - ②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。
- (2) 調査対象者
- 福岡市内に居住する満18歳以上の市民647人(就任時)
- ①選考方法:住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼
 - ②任期 : 令和5年4月5日から令和6年3月31日まで
- (3) 調査方法
- 【案内:郵送・メール、回答:郵送・インターネット】
- (4) 調査主体
- 福岡市 市長室 広聴課

2. 第2回調査の概要

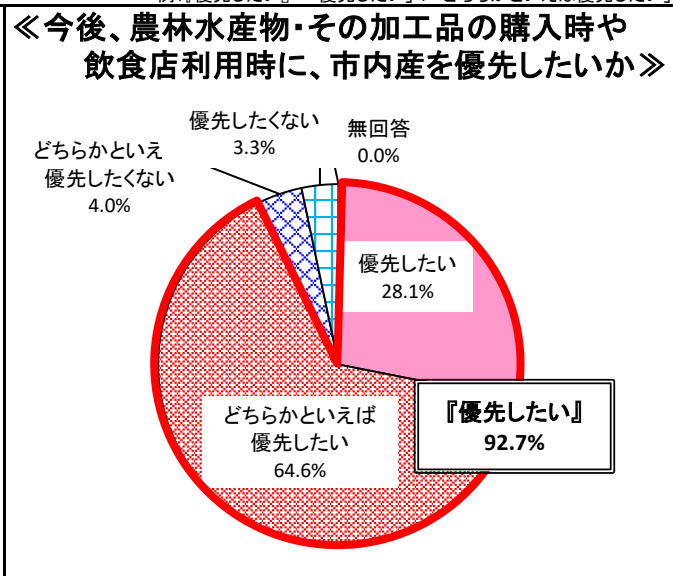
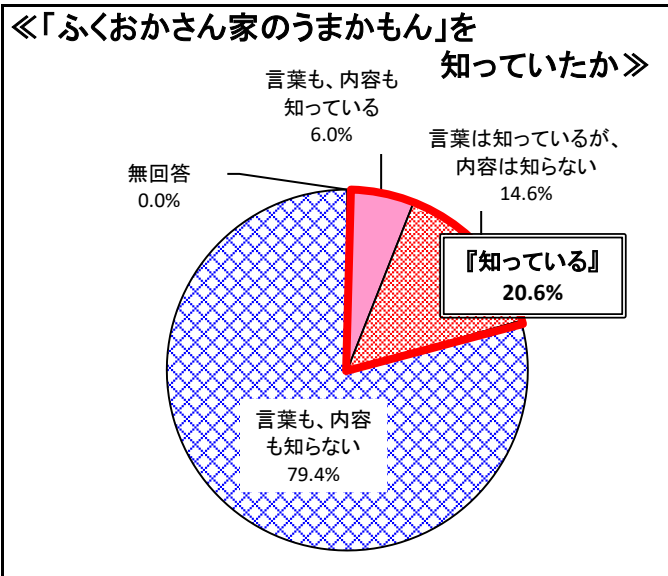
- (1) 調査時期
- 令和5年6月23日から7月7日まで
- (2) 調査対象者数
- 642人
- (3) 回答者数
- 548人
- (4) 有効回答率
- 85.4%
- (5) 調査テーマ
- ①「ふくおかさん家のうまかもん」について
 - ②「消費生活」について
 - ③「地域の福祉活動」について
 - ④「脱炭素社会の実現に向けた取組み」について
 - ⑤「福岡市の教育」について

3. 注意点

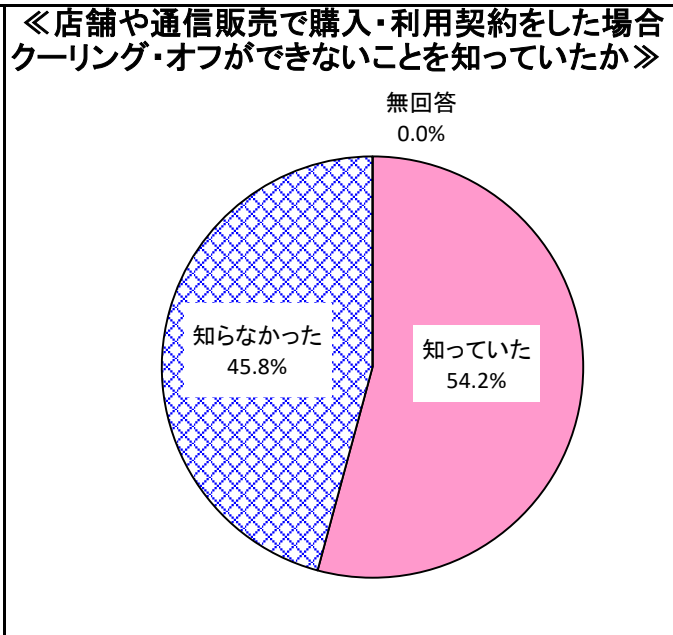
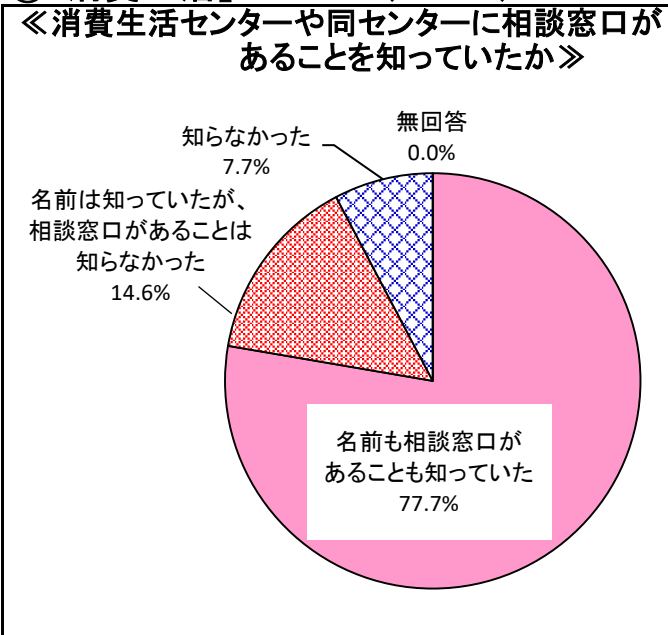
- (1) 各設問の母数(調査の元になる数)は、(N=)または(n=)で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある(N=)の数字となります。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合もあります。
- (3) 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

①「ふくおかさん家のうまかもん」について(N=548)

※『 』は2つ以上の選択肢を合計して表したものの例:
例:『優先したい』=「優先したい」+「どちらかといえば優先したい」

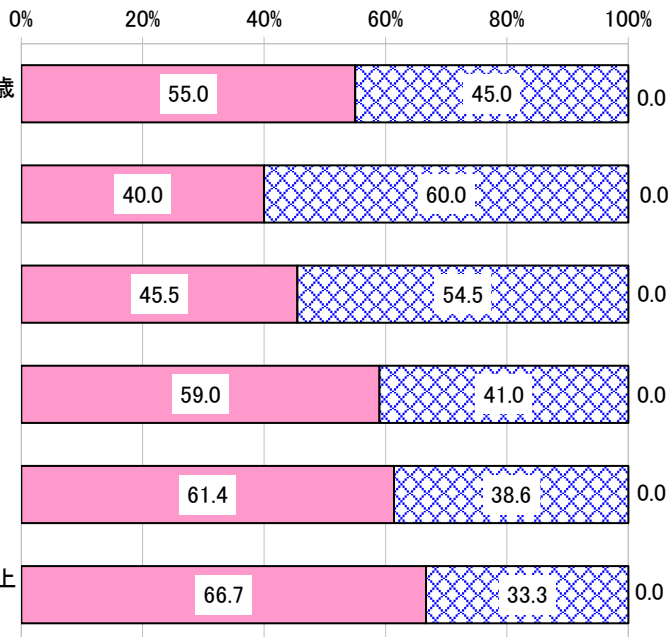
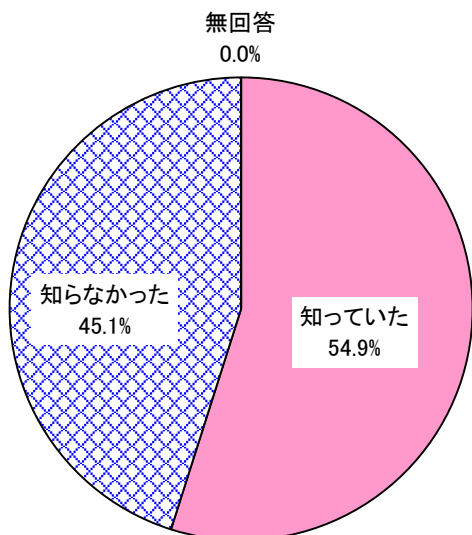


②「消費生活」について(N=548)



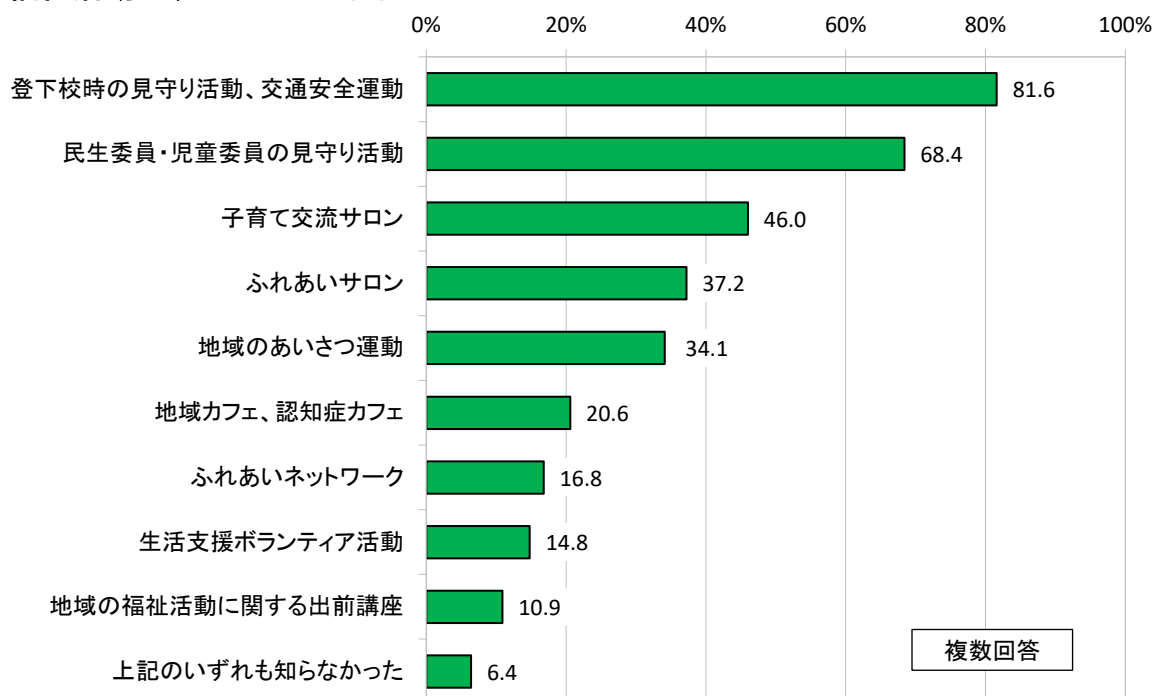
令和4年4月から「未成年者取消権」が18歳、19歳に適用されなくなったことを知っていたか

■ 知っていた
 ■ 知らなかった
 ■ 無回答



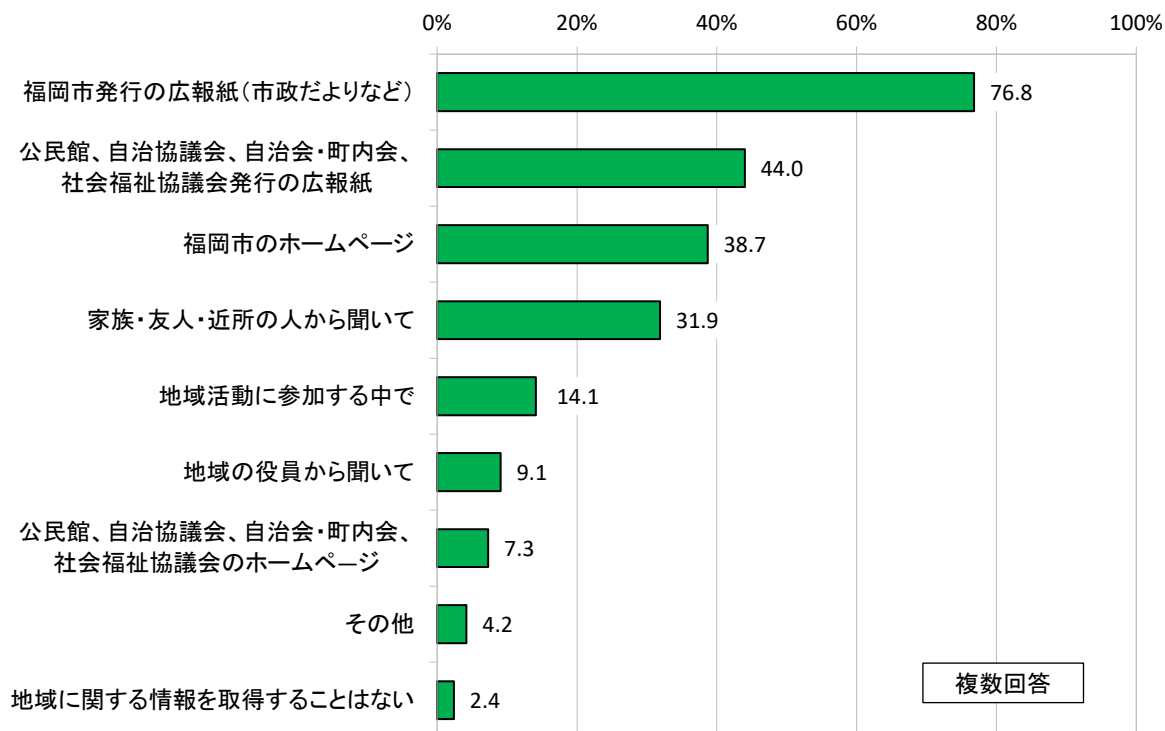
③「地域の福祉活動」について(N=548)

《地域の福祉活動のうち知っているもの》



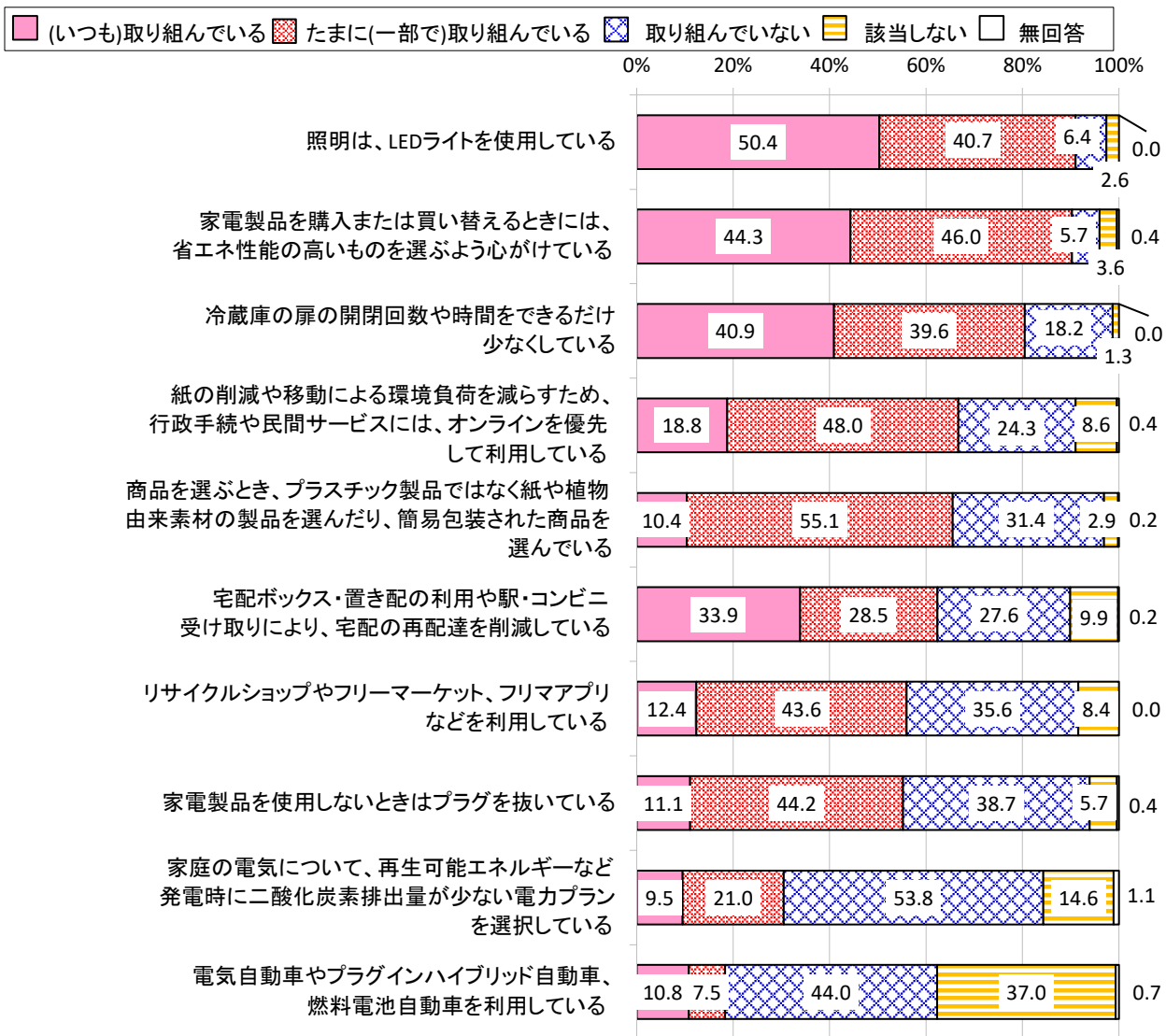
「登下校時の見守り活動、交通安全運動」と回答した方が81.6%と最も多く、次いで「民生委員・児童委員の見守り活動」が68.4%となりました。

《地域に関する情報をどのような方法で取得するか》

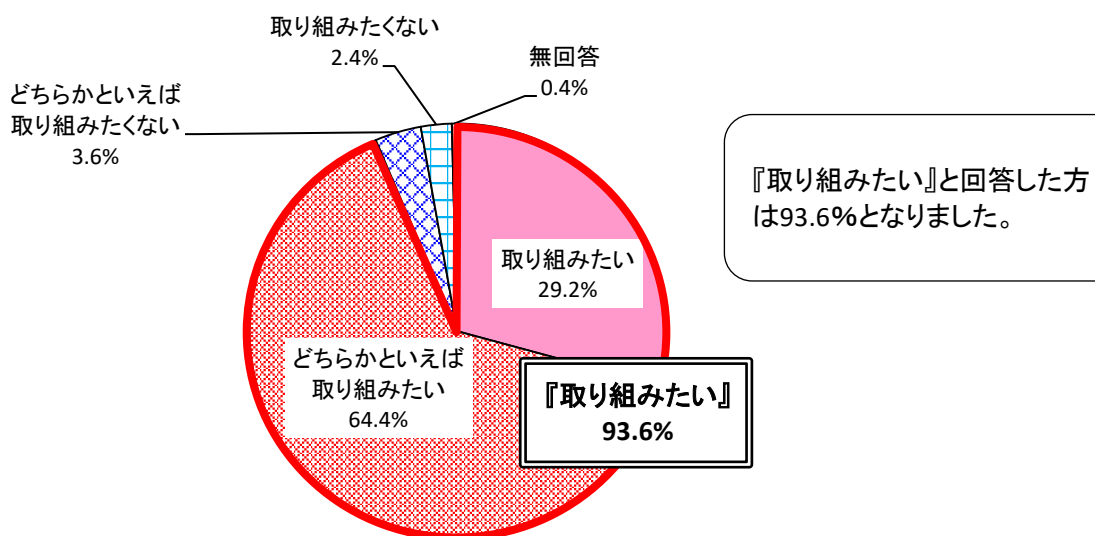


④「脱炭素社会の実現に向けた取組み」について(N=548)

《脱炭素行動について》

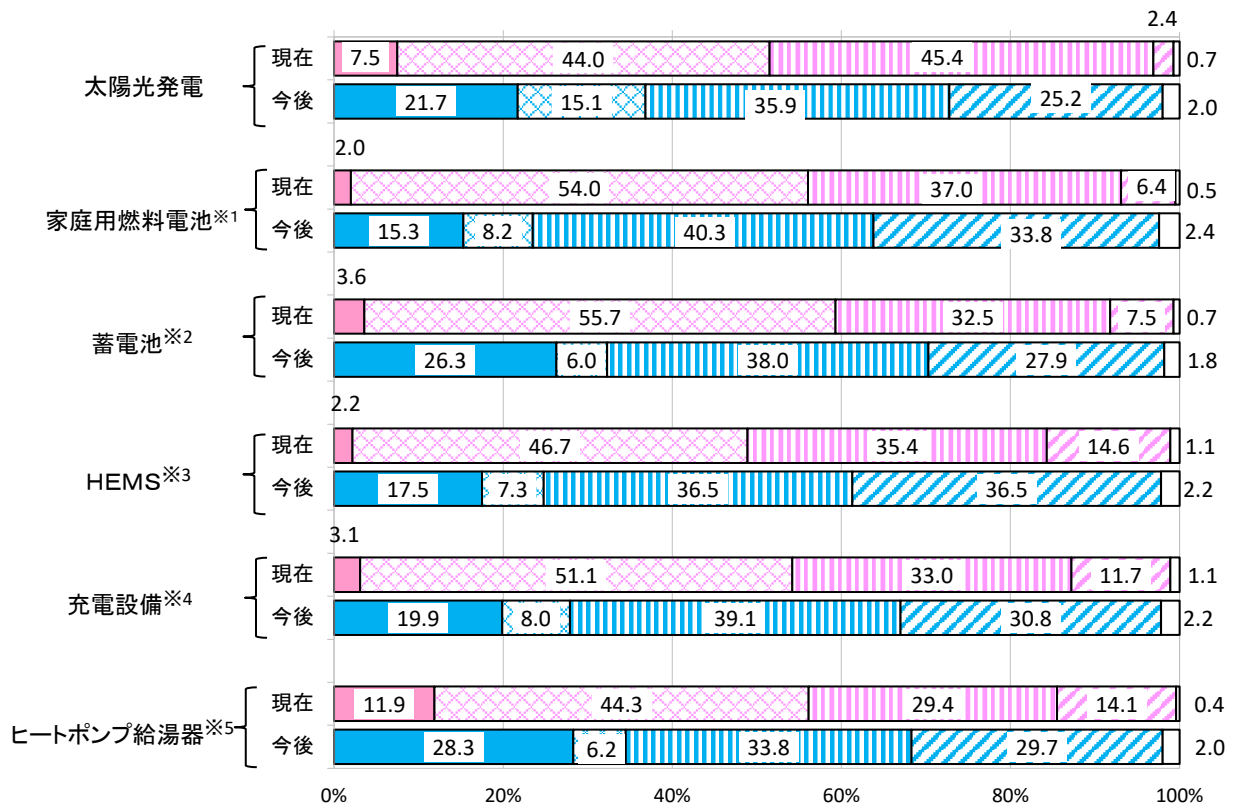


《脱炭素行動に取り組みたいと思うか》



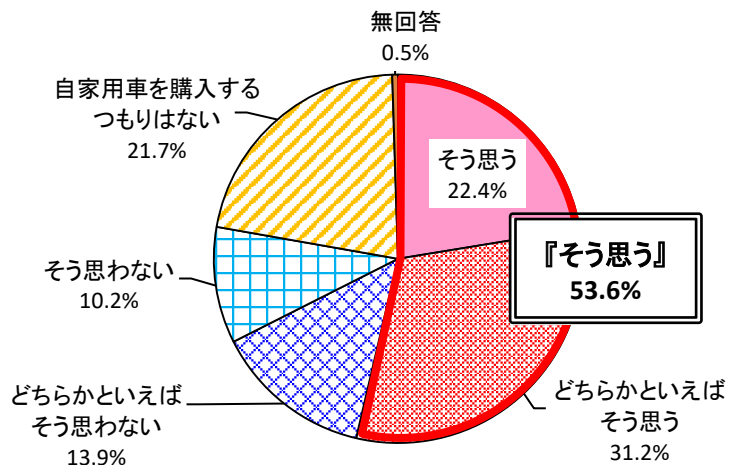
《省エネ・再エネ設備の設置状況と今後の設置意向》

【現在】 ■ 設置している ■ 設置していない ■ 設置できない ■ わからない □ 無回答
 【今後】 ■ 設置したい ■ 設置したくない ■ 決めていない ■ わからない □ 無回答



- ※1 家庭用燃料電池（エネファーム）
：ガスから水素を取り出して発電と給湯に利用する機器
- ※2 蓄電池
：電気を蓄えておき、必要なときに電気を使うことができる機器
- ※3 HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）
：電気の使用状況の確認や、照明や空調などの電気機器の制御をする戸建用システム
- ※4 充電設備
：電気自動車やプラグインハイブリッド自動車に充電するための設備
- ※5 ヒートポンプ給湯器（エコキュート）
：空気の熱を利用し、わずかな電気を使い効率的にお湯を沸かす機器

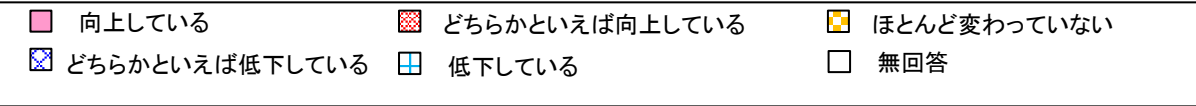
《自家用車の購入・買い替え時に、電気自動車やプラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の購入を検討しようと思うか》



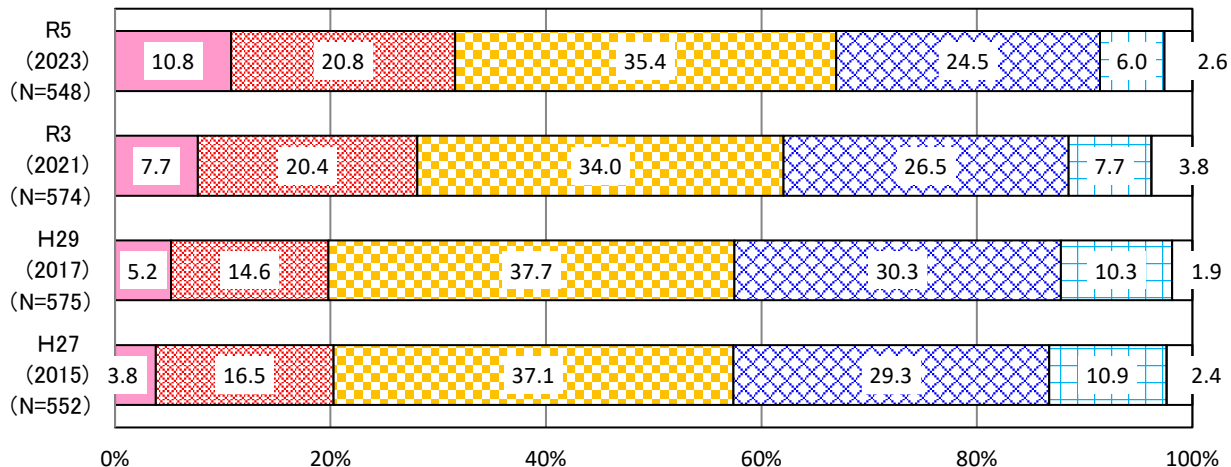
『そう思う』と回答した方は53.6%となりました。

⑤「福岡市の教育」について(N=548)

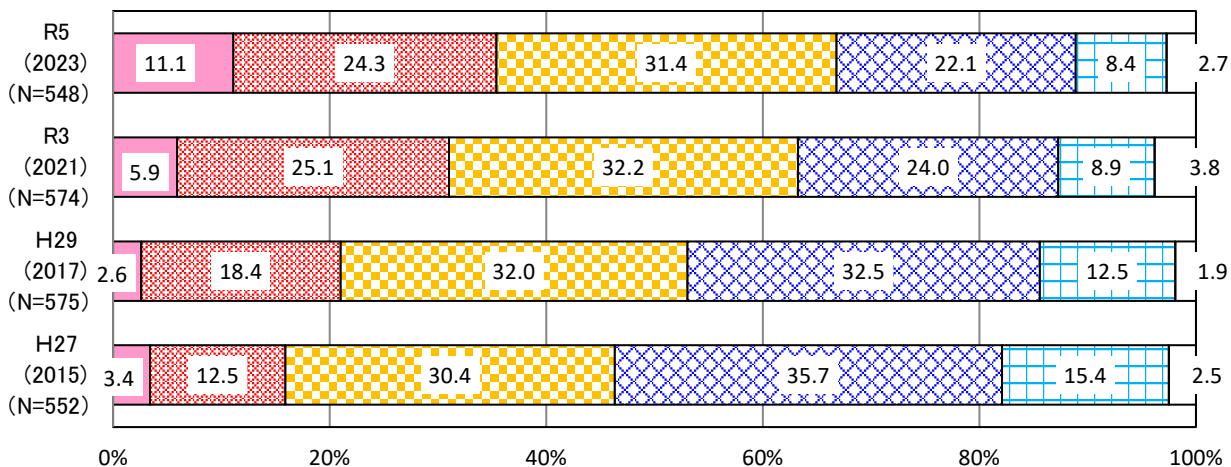
《あなたが子どもだった頃に比べて周りの子どもの状況をどのように感じるか(項目別:抜粋)》



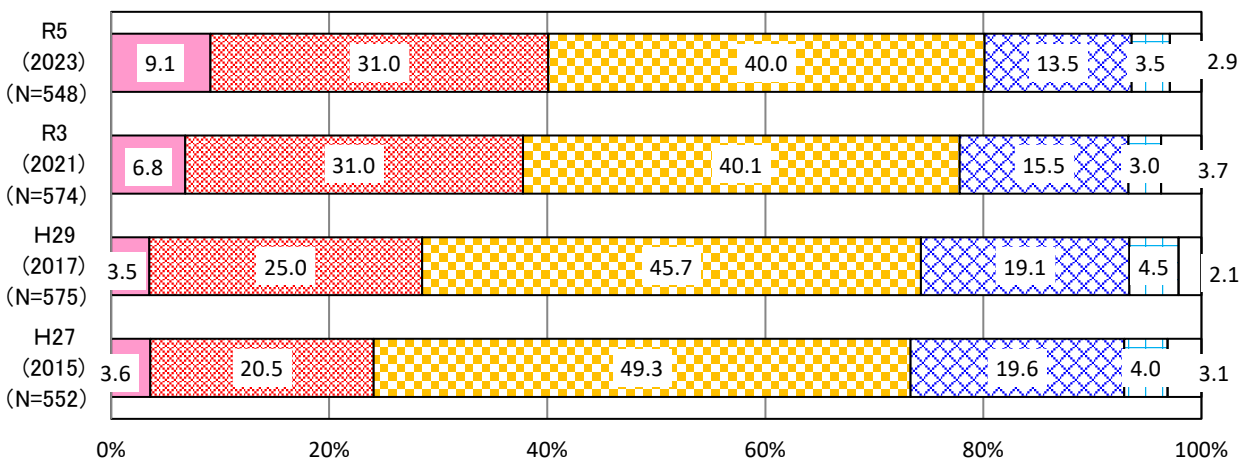
■あいさつや掃除などの基本的生活習慣



■社会のルールを守り、マナーを大切にする気持ち



■将来の夢に向かって自分を伸ばそうとする力



「あいさつや掃除などの基本的生活習慣」「社会のルールを守り、マナーを大切にする気持ち」「将来の夢に向かって自分を伸ばそうとする力」は、平成27年度から令和5年度間の調査結果を比べると、『向上している』が増加傾向にあります。

《お住まいの地域(校区)の人たちの活動や意識について(項目別:抜粋)》

■地域の安全パトロールや青少年の健全育成に取り組んでいる

そう思う

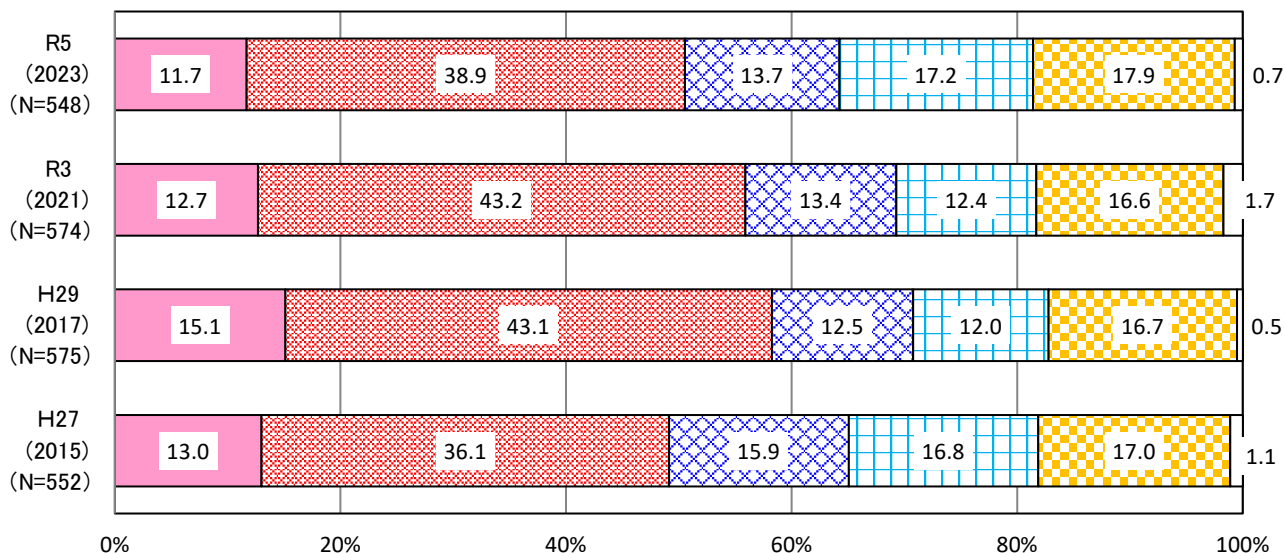
 どちらかといえばそう思う

 どちらかといえばそう思わない

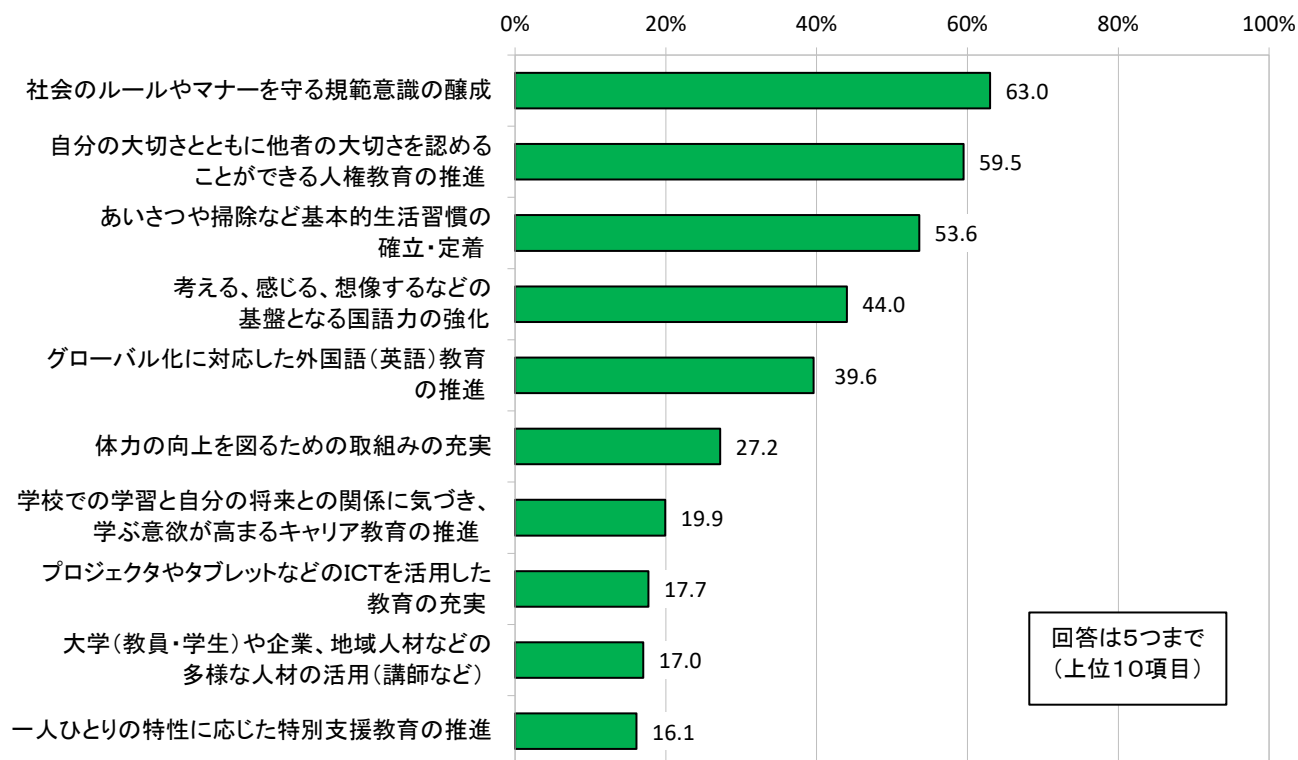
 そう思わない

 わからない

 無回答



《今後、「魅力ある教育」の推進のために優先して取り組むべきこと》



「社会のルールやマナーを守る規範意識の醸成」「自分の大切さとともに他者の大切さを認めることができる人権教育の推進」「あいさつや掃除など基本的な生活習慣の確立・定着」の上位3項目については、半数以上の方が取り組んでほしいと回答しています。